

多古町の活性化にJAF千葉支部と包括連携協定



サツマイモの収穫体験
～道の駅多古主催～



ホウレンソウの収穫体験
～JA多古町園芸部主催～

現在行われている取り組み



JAFで定期的の実施しているプレゼント企画へのタイアップとして、本町の代表的な特産品である「多古米」と「ヤマトイモ」そして多古米を100%使用して作られ清酒鑑評会で優等賞を受賞した「日本酒」を賞品として提供しました。JAF会員に配布される会員向けお得情報紙「JAF PLUS」およびJAFのホームページにも掲載され、多古町の名前と農産物を全国規模でPRすることができます。また応募者はアンケートに答えることが必須条件ですので、町に関する意識調査や現状把握ができる有効的な企画です。

全国ご当地名産品 プレゼント企画

総合観光情報サイト 「JAFナビ」の活用

本町の観光スポットなどを巡るドライブコースを、JAFホームページに掲載しPRしています。現在は4コースを掲載中。今後は商工会や商店会などと連携して、飲食店情報や会員特典情報なども盛り込んでいきます。



自然体験でレンコンの収穫

JAF会員特別優待 キャンペーン

10月1日～11月30日までの2カ月間、会員への優待キャンペーンを実施。多くの会員に本町を訪れてもらい、町の良さを知ってもらう取り組みです。道の駅や商店会の各店舗では、特別割引や粗品のプレゼントなどの優待が行われました。また道の駅出品者協議会やJA多古町が実施する収穫体験では、町の農産物をPRする絶好の機会でした。さらに日本寺ではコンサートを開催し、会員特別優待サービスを行いました。



埴地区の収穫祭にJAF会員が参加

町では昨年7月10日に、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）千葉支部と自治体としては全国初の取り組みとなる包括連携協定を結びました。本町は比較的高速のインターに近いことや町のほぼ中心部を東西に国道296号線が横断していること、そして圏央道が町の西側を縦断する予定であることなど、道路事情については良い状況といえます。

また広域圏で捉えると、都市部と銚子を結ぶ中間点でもあり、栗山川と国道296号線の交差点には気軽に立ち寄れる「道の駅多古」と「あじさい公園」があります。このような状況において、本町を訪れる方々の交通手段は圧倒的に「車」です。そこで「車ユーザーをターゲットとした町の活性化策を」と考えたときに、JAF千葉支部から自治体と連携した取り組みで「JAFナビ」という企画の提案がありました。そして「観光、農業、商業等の地域産業振興や交通安全、都市と農村との交流、JAF会員向けサービス」などといったさまざまな項目で相互に連携を強化し、双方の資源を有効に活用して町の活性化および会員サービスの向上につながるよう包括協定を締結することとなりました。

道の駅で実施した「サツマイモ収穫体験」とJA多古町が実施した「ホウレンソウ収穫体験」には予想を上回る応募があり大盛況でしたので、今後の継続的な実施を検討しています。

自然体験イベント

11月24日にJAF主催で開催しているイベントと、埴地区が農地・水保全管理支払交付金を活用して取り組んでいる、環境保全事業とがタイアップしたイベントが開催されました。環境保全事業の一環である「収穫祭」にJAF会員も参加。農作物の収穫体験や環境保全の取り組みについて学習するとともに、地域と会員の方々との交流が行われました。地域が主体となつて実施している事業とタイアップすることで、農村部での課題となつている、空家対策や定住促進などの問題解決にもつながっていきます。

多古高校で バイク通学の生徒へ 「交通安全講習会」

12月13日、多古高校でJAFロードサービス隊指導員によ



運転技能を高めるための実技講習

今後は、この協定に基づきさまざまな取り組みを展開することで、町全体が「おもてなしの心」で来町者を受け入れるという意識の醸成につながればと考えています。

今後の連携イベントは！

3月にはJAFと千葉交通旅行会社とのコラボ企画として、バスツアー商品を検討中。

を活用し、農産物のPRをはじめ道の駅や商店街などで会員優待キャンペーンなどを展開し、多くの方が町を訪れる仕掛け作りを実施することで、町の活性化を図っています。



JAF会員が埴地区でダイコンの収穫体験



埴地区の方々と交流